

2017年1月31日

キャリア教育・就職支援ワークショップ〔東京〕

# 教育から就職支援へ

～世界の高等教育改革をもとに考える～

文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会 委員  
加藤敏明

世界のキャリア教育は、今

～教室から社会へ～

# キャリア教育

(狭義／教室内の座学)



# 産学連携教育

(インターンシップ、サービスラーニング、実習など体験学習)

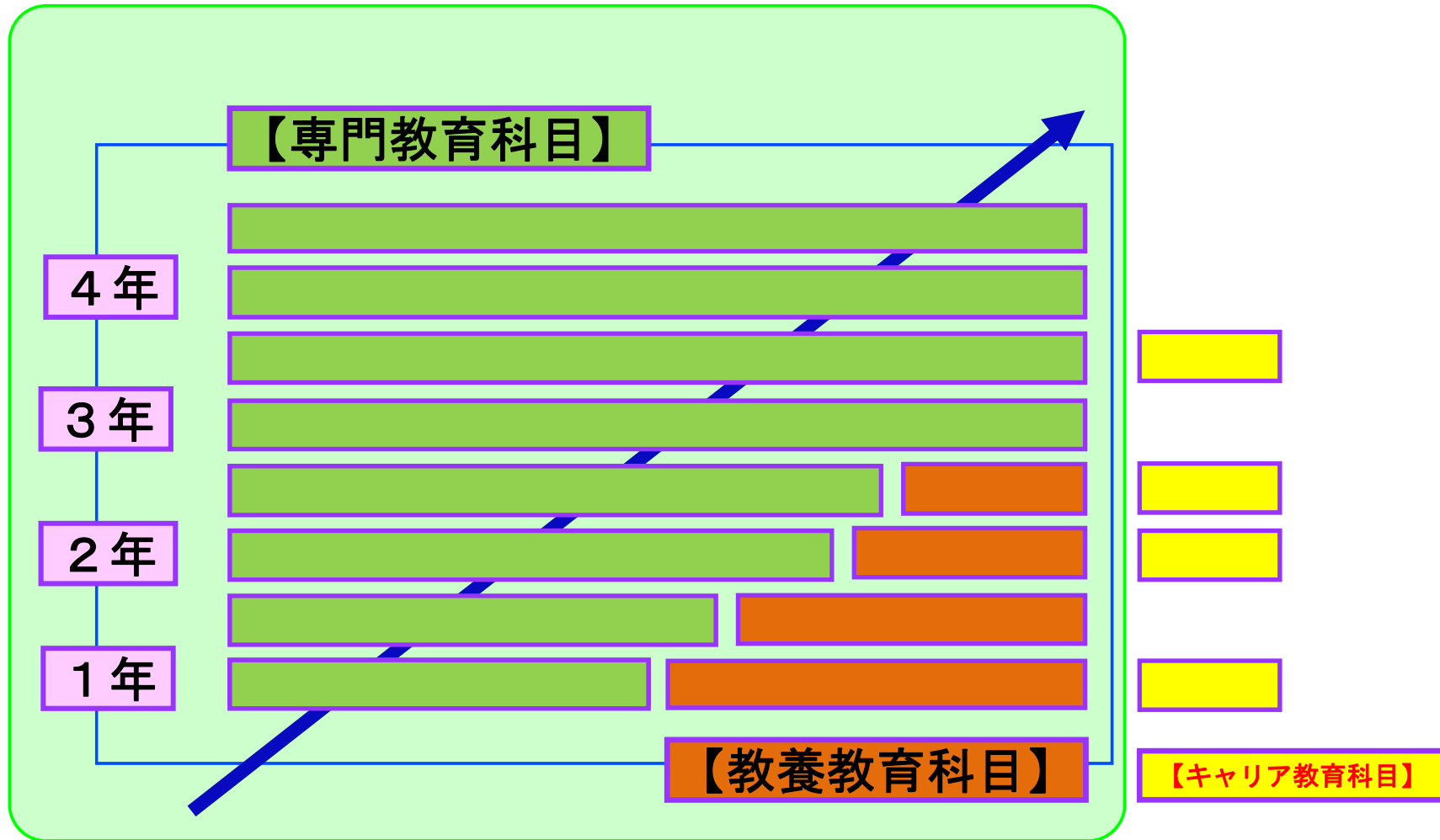


# 専門教育等の底上げ

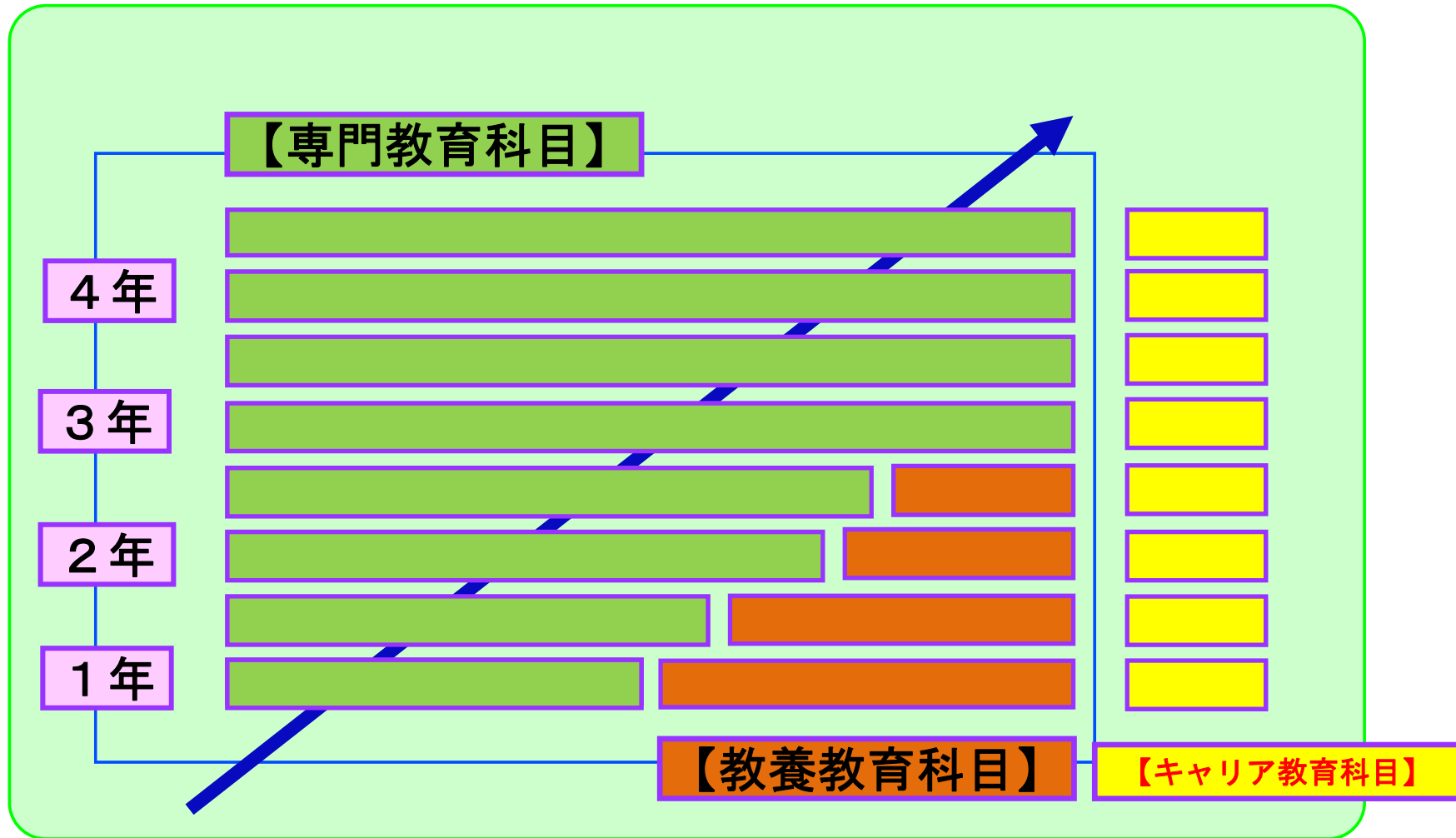


# 高等教育としての就職支援

# キャリア教育の初期段階

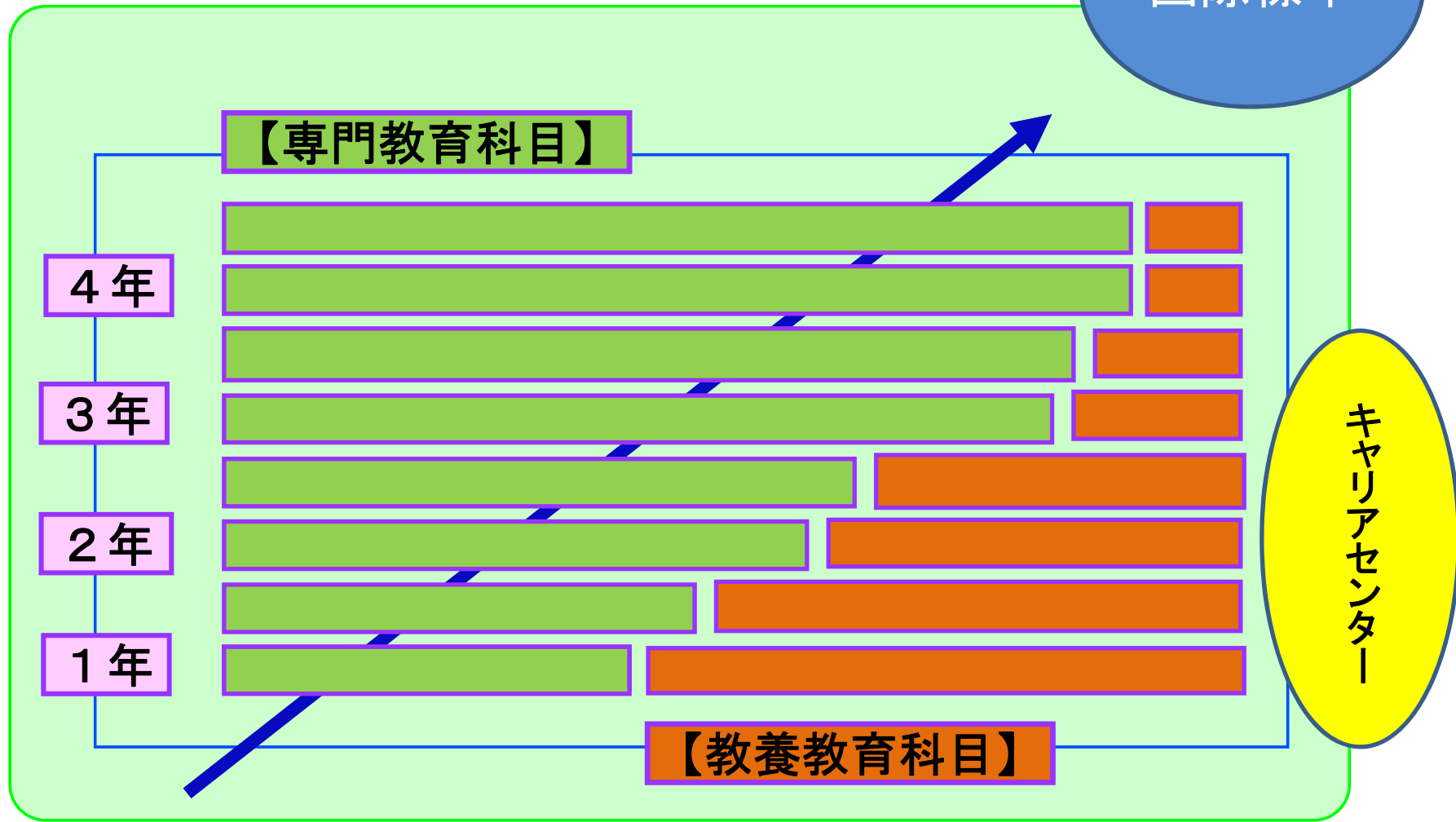


# キャリア教育の発展段階



# キャリア教育の完成段階

国際標準



その結果、何が起こったのか

～日本と世界との国際比較から～

# インターンシップ(産学連携教育)の国際比較

## 【米国】

①期間／3ヵ月が主流 ②有償 ③単位化 ④大学実施率100% ⑤学生参加率90%超

## 【欧州】

①期間／1～3ヵ月 ②有償 ③単位化 ④大学実施率100% ⑤学生参加率40～60%

## 【アジア】

①期間／1ヵ月が主流 ②有償 ③単位化 ④大学実施率100% ⑤学生参加率80%超

## 【日本】

①期間／1～3週間 ②無償 ③非単位が主流 ④大学実施率72.9% ⑤学生参加率2.6%※

(註)資格取得等を含むと19.2%。企業主導のワンディインターンシップ等を含むと推定70%程度。

(OECD、リクルートワークス研究所、リクルートキャリア、HEFCE、文部科学省、日本インターンシップ学会)



# 英国の高等教育改革

～教育と就職支援を一体化する西欧の取組～

## Traineeships

[導入] 2013年／財源は全額国庫(補助金形式)

[対象] 16～19歳 (現在は24歳に延長)

[内容] 5週間～5カ月の「仕事体験実習」

[趣旨] 高等教育改革＋若年層失業対策

英語や数学が一定の水準に達していない若者が技能や資格を習得できることを目的とする。「Apprenticeships」への予備段階に位置付けられる。

# Apprenticeships

[導入] 2013年／財源は全額国庫(補助金形式)

[対象] 16歳以上の若年勤労者 (パートタイム学生を含む)

[内容] 最長1年間のレベル別「実習」

Intermediate(中級)、Advanced(上級)、Higher(最上級)、Degree(学位取得レベル)の4種。最高レベルのDegree Apprenticeshipsでは、大卒相当の資格と認定される。

**受入事業所、約20万(2015年)。参加者数、約20万人。**

[趣旨] 高等教育改革＋若年層失業対策

原点は、1994年のModern Apprenticeships。

英国のものづくりを中世以来支え続けてきたギルド制度(手工業者の協同組合)。その根幹をなす徒弟制がApprentices。同年、中世以来数百年に及んだこの制度を受け継ぎスタートした。

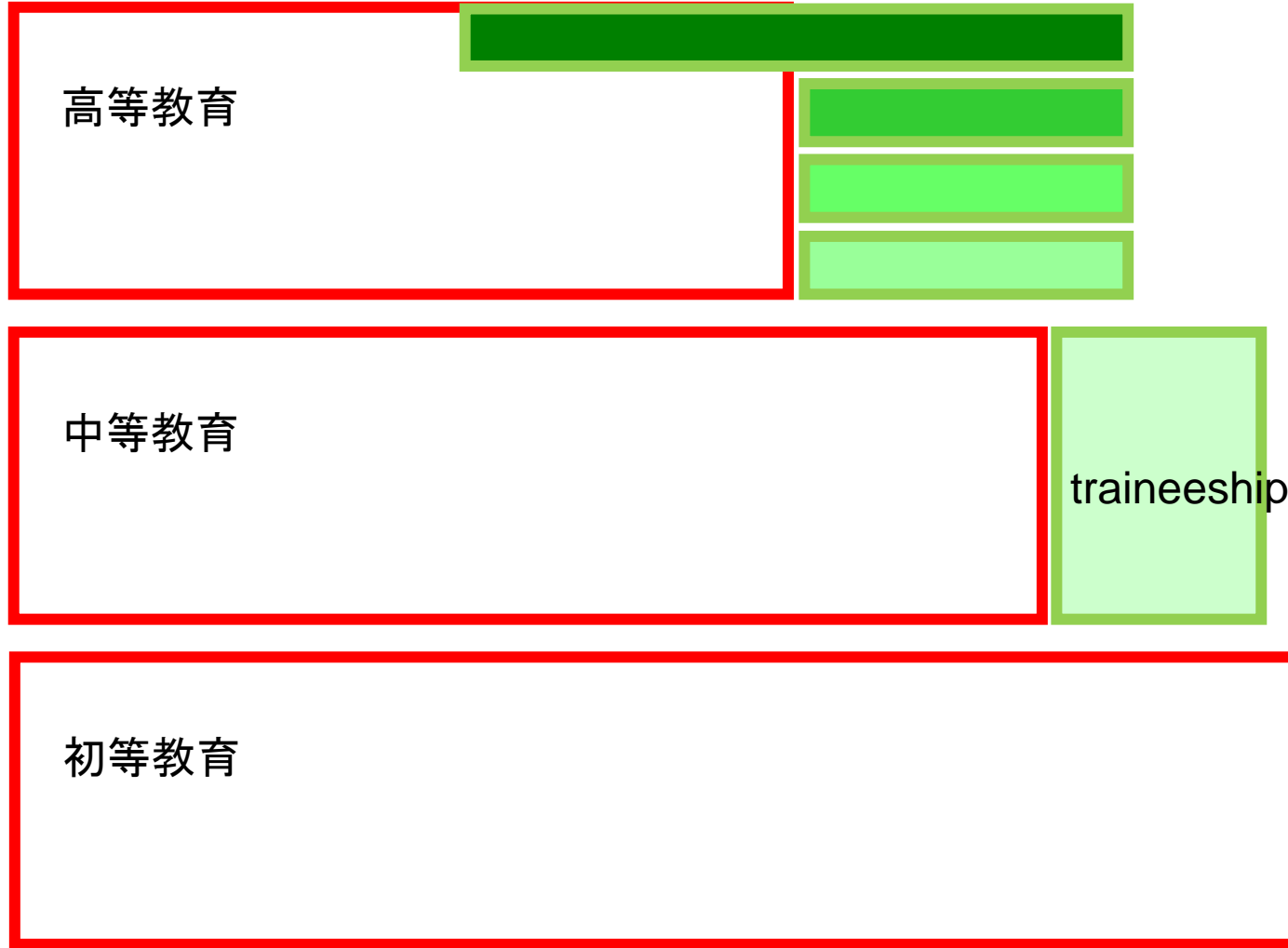
apprenticeship

高等教育

中等教育

初等教育

traineeship



## 西欧の高等教育改革の基本的な考え方

1、脱・エリート養成教育傾斜 / 研究支援 ↓ 教育支援 ↑

※研究支援は基準の厳格化、高等教育支援は中堅校に照準

※EUの打ち出したキーコンピテンシー「Employability(就労能力)」

2、若年層失業対策と合体 ⇒ 教育機関外への支援枠の拡大

3、体験(経験)型教育を重視 ⇒ 資格や技能習得とセット

4、各国の特性を活かした支援

※英国／ギルド制度、ドイツ／デュアルシステム、フランス／バカロレア 等

では、私たちは何をなすべきか

～日本の特性を活かした教育改革～

## 日本の特性とは？

春季入学・卒業  
新卒一括採用システム  
(就職協定)

ワンディ・インターンシップ

## 【試案1】 ワンディ・インターンシップを昇華させる

### 「ワンディ・インターンシップ」

- [実施主体] 主に企業
- [期間] 多くは1日間
- [内容] 実質的には会社説明会



### 「プログレッシブ・インターンシップ」(仮称)

- [実施主体] 大学と企業の協同
- [期間] 事前学習1日+実習3日+事後学習1日=計5日間
- [実習内容] 現行のワンディ・インターンシップ(初日)  
就業体験(2日目)  
グループディスカッション形式による総括(3日目)



## 【試案2】 ワンディ・インターンシップを合体させる

### 「ワンディ・インターンシップ」

- [実施主体] 主に企業
- [期間] 多くは1日間
- [内容] 実質的には会社説明会



### 「コンパウンド・インターンシップ」(仮称)

- [実施主体] 大学と複数企業の協同
- [期間] 事前学習1日＋実習3日＋事後学習1日＝計5日間
- [実習内容] A社での実習を伴うワンディ・インターンシップ(初日)  
B社での実習を伴うワンディ・インターンシップ(2日目)  
A社、B社立ち合いの下、グループディスカッション形式による  
総括(3日目)

【グループワークに向けて】

経済界とともに考え、具体的な成果を  
導き出しましょう！



身の丈に合った  
確実に着手できる方策を見出し、  
持ち帰り、  
実行しましょう。

ご清聴いただき、ありがとうございました  
katoshi1@yahoo.co.jp